

学校評価

学校法人 田北学院 田北調理師専門学校 学校評価報告書 (平成30年度)

評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|---|------|------|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 3 | 3 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 | |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想は抱いているか | 3 | |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3 | |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | |

課題

- ・料理人になる事がどう言う事なのか？という根本的問いかけに対して明確に答えられる学生がはたして何人いて、覚悟があるかどうか疑問である。

今後の改善方策

- ・基礎的な部分、料理の楽しさや華やかさ、責任感を養う上でもっと明確に指導者の役割分担を決めます。
- ・業界のニーズに対応出来るような人材の育成を行います。

特記事項

- ・外部からのプロフェッショナルな調理、サービス（ソムリエ等）など、時には東京からミュッシュランシェフを招聘する位の特別授業を試みて良い。学生がこの世界の厳しさを知った上で、なお憧れる事が大切です。

(2) 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|---|------|------|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 3 | 3 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3 | |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 2 | |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 3 | |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3 | |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3 | |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3 | |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 2 | |

課題

- ・学校運営の見直しを時にやった方がよい。
- ・運営方針や事業計画、予算等を策定する必要がある。

今後の改善方策

- ・業務内容の効率化、情報の共有、キャリアサポート人員の増員や広報活動等を大々的に見直していくようにします。
- ・事業計画、予算等年度初めに各科より提出させ、年度ごとに策定します。

(3) 教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--|------|------|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 3 | 3 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3 | |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3 | |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 3 | |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 2 | |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 3 | |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 3 | |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 2 | |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 3 | |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 | |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 3 | |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 2 | |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 2 | |

課題

- ・実践的な職業教育や企業連携を密にしていく必要がある。

今後の改善方策

- ・実施出来てないところは体制を構築します。

(4) 学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--|------|------|
| ・就職率の向上が図られているか | 3 | 3 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 3 | |
| ・退学率の低減が図られているか | 3 | |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 | |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 | |

課題

- ・就職率向上の為の就職斡旋になっていないか。
- ・学生意識、能力、将来の展望に沿ったプランを考えなければ、たとえ就職したとしても離職率も向上してしまう。

今後の改善方策

- ・卒業生の離職率を踏えて今後のデータとして、その学生にあったプラン構成も必要です。
- ・求人情報を常に最新の者を掲示、担任、キャリアサポート等個人面談を増やし学生の意識を高めていく

特記事項

- ・就職先も偏った傾向が見られ、料理の世界は日に日に移動し、良い店も入れ変わっている。新たな料理関係者との繋がりを増し、学生への料理界への門を広げるべき。

(5) 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--|------|------|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 3 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 3 | |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3 | |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3 | |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 | |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 | |
| ・保護者と適切に連携しているか | 3 | |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 3 | |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3 | |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3 | |

課題

- ・各支援体制の構築が必要である。

今後の改善方策

- ・経済的支援については授業料免除等があるが、経済的困窮学生やアルバイト（学費補助）学生に対する支援体制について検討します。

(6) 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--|------|------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 | 3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、について十分な教育体制を整備しているか | 3 | |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 3 | |

課題

- ・校内の階段の手すりを両側に設置して欲しい。

今後の改善方策

- ・階段の手すりについては、校舎全体の改築等も合わせて対応します。

(7). 学生の受入れ募集

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|------------------------------|------|------|
| ・学生募集活動は、適切に行われているか | 3 | 3 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3 | |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 3 | |

課題

- ・社会の少子化現象に伴って18才人口（高校新卒者）の激減の今日、専修学校、大学共に学生募集については難関の一つです。これを何としても打開しなければ、本校の生き残りはないと云える程の課題です。

今後の改善方策

- ・実際現在のところ、これと云った改善策はないのが事実です。しかし、現状維持そして発展していくためには、歴史を重んじ地道に教育を実施すると同時に、現代社会のニーズに応えるべく、この機会に「職業実践専門課程」を大いに生かした教育の実現をしなければならぬと教職員一丸となって努力します。

(8). 財務

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|---------------------------|------|------|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 3 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3 | |
| ・財務について会計監査が適切に行われているか | 4 | |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | |

課題

- ・今回は初めてなので全面的に公開評価してもらったが、毎年、学院の財務をどこまで公開すればよいか。

今後の改善方策

- ・今年は企業等の方々、保護者は回答してもらえなかったもので、今後は税理士と相談して検討します。

(9). 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--------------------------------|------|------|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3 | 3 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3 | |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3 | |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 | |

課題

- ・専修学校設置基準、個人情報に関する保護など、法令等については、教職員も関心がなく、どこまで正しい評価かどうか疑問が残る。

今後の改善方策

- ・昨年に続き専修学校設置基準等はプリントを事前に配布して熟読してもらおう。また、学校評価等についても事前に配布し内容を理解してもらった上で回答してもらおう。

(10). 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--|------|------|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 | 3 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 | |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | |

課題

・本校は調理師養成校といった特色を持っているため、企業、地域より料理教室、菓子教室等の講演、実習室使用等の依頼が頻繁にあるけれど、授業との関係でなかなか受諾することが困難である。

今後の改善方策

・夏休み等の長期休暇をりようしての講演、実習の受託

・教育課程編成委員の方々より来年に向けてこれらも考慮に入れた良いカリキュラムを検討してもらいます。ボランティア活動も月2回地域清掃を行っているが、授業に影響のない範囲で増やすことを検討しています。

・年一回の学院祭の時、学生中心になってバザーを実施して、その売上金の一部を社会福祉協議会等に寄附しています。

(11). 国際交流（必要に応じて）

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 自己評価 | 学校評価 |
|--------------------------------------|------|------|
| ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 3 | 3 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 3 | |
| ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 3 | |
| ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 2 | |

課題

- ・留学生の増加に伴い、講師の確保、教室を増やす整備等
- ・特定技能1号を取得する為のカリキュラムの組立
- ・留学生のキャリアサポートの充実

今後の改善方策

・引続き日本語学校等にパンフレット等配布し、さらに学生募集に学校訪問をします、現在福岡県、佐賀県、を中心に営業活動をおこなっているが、熊本県や宮崎県への営業活動

・現在の入学資格をN3以上の所持者となっているが、これも検討する必要があると思います。

・1年生の3学期から個人面談等で進路を決めて行く